



平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月14日

上場会社名 日本農薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4997 URL <http://www.nichino.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神山 洋一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部総務部長 (氏名) 伴 美博

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

TEL 03-3274-3374

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	6,651	△3.1	△219	—	△221	—	△143	—
23年9月期第1四半期	6,864	△9.5	△54	—	△51	—	△43	—

(注) 包括利益 24年9月期第1四半期 △198百万円 (—%) 23年9月期第1四半期 97百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	△2.14	—
23年9月期第1四半期	△0.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第1四半期	50,355	32,922	65.1
23年9月期	48,956	33,424	68.0

(参考) 自己資本 24年9月期第1四半期 32,780百万円 23年9月期 33,290百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	4.50	—	4.50	9.00
24年9月期	—	—	—	—	—
24年9月期(予想)	—	4.50	—	4.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,100	3.4	2,700	0.7	2,700	4.1	1,700	7.3	25.39
通期	39,500	△2.3	2,600	△26.5	2,600	△22.0	1,600	△26.5	23.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期1Q	70,026,782 株	23年9月期	70,026,782 株
② 期末自己株式数	24年9月期1Q	3,066,995 株	23年9月期	3,062,404 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期1Q	66,961,517 株	23年9月期1Q	66,987,643 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災などの度重なる災害の影響の長期化により依然厳しい状況にあるものの、サプライチェーンの復旧が進むなか、企業の生産活動の持ち直しや設備投資の下げ止まりなど緩やかな回復の兆しがみられました。

しかしながら、欧州の政府債務危機に端を発した一段の円高の進行やデフレ基調の継続、雇用情勢の悪化などから景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループの第1四半期業績は、中核事業である農薬事業が不需要期にあたる季節的要因から、他の四半期業績に比べ相対的に売上高、利益とも低い水準に止まる傾向があります。当第1四半期連結累計期間の売上高は、66億51百万円（前年同期比2億13百万円減、同3.1%減）となりました。利益面ではノウハウ技術料収入の減少などから営業利益は△2億19百万円（前年同期比1億65百万円減）、経常利益は△2億21百万円（前年同期比1億70百万円減）となり、四半期純利益は△1億43百万円（前年同期比1億円減）となりました。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は以下のとおりです。

[農薬事業]

国内農薬販売では、園芸用殺虫剤「フェニックス」、水稲用殺菌剤「ブイゲット」などの主力自社開発品目の普及拡大に努めました。また、農薬原体販売では当用期に向けた販社への荷動きが早まり、国内販売全体の売上高は前年同期を上回りました。

海外農薬販売では、米州での販売が好調に推移しましたが、アジア地域では天候不順や病害虫の小発生から需要が低迷し、さらに為替が円高基調で推移したことなどから海外販売全体の売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、農薬事業の売上高は56億29百万円（前年同期比1億2百万円減、同1.8%減）となり、営業利益は△2億95百万円（前年同期比78百万円増）となりました。

[農薬以外の化学品事業]

医薬品事業において外用抗真菌剤の出荷が好調に推移し売上高が伸長しましたが、ノウハウ技術料収入は前年同期を下回りました。

以上の結果、農薬以外の化学品事業の売上高は5億83百万円（前年同期比1億65百万円減、同22.1%減）となり、営業利益は1億15百万円（前年同期比2億25百万円減、同66.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13億99百万円増加し、503億55百万円となりました。これは、売掛債権の減少を上回るたな卸資産の増加が主な要因です。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ19億1百万円増加し、174億33百万円となりました。これは、仕入債務の増加が主な要因です。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5億1百万円減少し、329億22百万円となりました。これは、利益剰余金の減少が主な要因です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年9月期の連結業績予想につきましては、平成23年11月14日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実行税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実行税率を乗じて計算する方法を採用しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,719	4,918
受取手形及び売掛金	11,967	9,611
有価証券	3,500	4,000
商品及び製品	5,370	8,209
仕掛品	539	670
原材料及び貯蔵品	1,432	2,426
その他	1,935	2,297
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	30,460	32,128
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,856	4,801
機械装置及び運搬具(純額)	1,952	2,015
土地	5,601	5,602
その他(純額)	765	591
有形固定資産合計	13,175	13,011
無形固定資産	856	831
投資その他の資産		
投資有価証券	2,610	2,427
その他	1,871	1,975
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	4,464	4,384
固定資産合計	18,495	18,227
資産合計	48,956	50,355

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,848	6,691
電子記録債務	—	652
短期借入金	1,068	1,496
未払法人税等	597	39
賞与引当金	577	264
営業外電子記録債務	—	125
その他	3,301	3,181
流動負債合計	10,392	12,451
固定負債		
長期借入金	700	700
退職給付引当金	2,207	2,137
その他	2,231	2,144
固定負債合計	5,139	4,982
負債合計	15,532	17,433
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,939	10,939
資本剰余金	13,235	13,235
利益剰余金	10,579	10,134
自己株式	△1,608	△1,610
株主資本合計	33,146	32,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	360	267
為替換算調整勘定	△216	△186
その他の包括利益累計額合計	144	80
少数株主持分	133	141
純資産合計	33,424	32,922
負債純資産合計	48,956	50,355

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	6,864	6,651
売上原価	4,065	4,064
売上総利益	2,799	2,587
販売費及び一般管理費	2,853	2,806
営業損失(△)	△54	△219
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	16	22
不動産賃貸料	14	14
持分法による投資利益	17	11
その他	10	9
営業外収益合計	59	59
営業外費用		
支払利息	12	9
たな卸資産廃棄損	8	13
その他	36	38
営業外費用合計	56	61
経常損失(△)	△51	△221
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産処分損	3	2
投資有価証券評価損	25	12
特別損失合計	29	15
税金等調整前四半期純損失(△)	△79	△237
法人税等	△38	△98
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△40	△138
少数株主利益	2	4
四半期純損失(△)	△43	△143

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△40	△138
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	119	△93
為替換算調整勘定	5	21
持分法適用会社に対する持分相当額	12	11
その他の包括利益合計	138	△60
四半期包括利益	97	△198
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92	△206
少数株主に係る四半期包括利益	4	7

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,731	748	6,480	384	6,864	—	6,864
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	208	209	△209	—
計	5,731	748	6,480	592	7,073	△209	6,864
セグメント利益又は損失(△)	△373	340	△33	117	84	△138	△54

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、スポーツ施設経営、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△138百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△150百万円、未実現利益の調整等12百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,629	583	6,212	438	6,651	—	6,651
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	180	180	△180	—
計	5,629	583	6,213	618	6,831	△180	6,651
セグメント利益又は損失(△)	△295	115	△180	108	△71	△147	△219

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、スポーツ施設経営、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△147百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△162百万円、未実現利益の調整等14百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。